



H.Suga

THE MEGURO KINEN

第138回 農林水産省賞典 目黒記念 (GII)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 57,000,000円 23,000,000円 14,000,000円 8,600,000円 5,700,000円
付加賞 924,000円 264,000円 132,000円



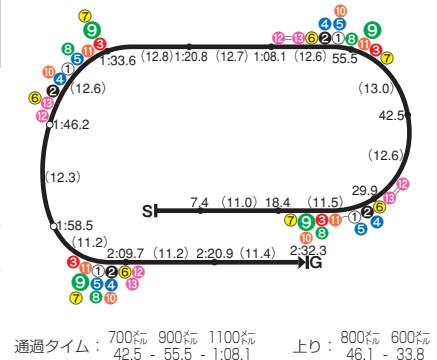
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、2023.5.27以降2024.5.19まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2024.5.26 東京 晴・良 芝2500m (国際) 特招

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	シュトルーヴェ	騾 5	58.5	J.モレイラ	2:32.3	11-10-11-10	32.9	478(-2)	3.5①	堀 宣行(美浦)	114
2	⑥	シュヴァリエローズ	牡 6	56	西村淳也	クビ	3-3-2-3	33.6	458(-8)	33.0⑩	清水久詞(栗東)	108
3	④	クロミナンス	牡 7	57.5	C.ルメール	アタマ	4-4-5-4	33.4	484(-8)	3.8②	尾関知人(美浦)	111
4	②	サトノグランツ	牡 4	58.5	川田将雅	マ	4-4-4-4	33.7	498(-)	5.3③	友道康夫(栗東)	112
5	⑧	マイネルウィルトス	牡 8	57.5	横山武史	マ	9-9-8-7	33.5	478(-6)	8.9④	宮 徹(栗東)	
6	⑪	ダンディズム	騾 8	57	岩田望来	ハナ	8-10-10-10	33.3	468(-6)	137.6⑫	野中賢二(栗東)	
7	⑤	ヒートオンビート	牡 7	59	坂井瑠星	クビ	6-6-8-7	33.4	472(-2)	9.9⑥	友道康夫(栗東)	
8	⑬	バラジ	騾 5	56	丹内祐次	マ	2-2-2-2	34.1	492(-8)	115.0⑪	鹿戸雄一(美浦)	
9	⑩	ケイアイサンデラ	牡 4	54	藤懸貴志	マ	1-1-1-1	34.3	434(-6)	15.9⑦	小林真也(栗東)	
10	⑦	メイショウブレゲ	牡 5	56	酒井 学	クビ	9-12-11-13	33.2	468(±0)	22.9⑨	本田 優(栗東)	
11	⑫	ナイトインロンドン	牡 4	52	鮫島克駿	マ	11-6-5-4	34.0	480(+2)	21.7⑧	大竹正博(美浦)	
12	⑪	ジュンアラニヨシ	牡 4	55	池添謙一	クビ	6-6-7-7	33.8	482(-2)	9.6⑤	松下武士(栗東)	
13	⑦	シークレットラン	牡 8	52	内田博幸	6	13-13-11-10	34.5	502(+10)	231.6⑬	村山 明(栗東)	

単勝⑤350円(1[△]△) 複勝⑩160円(2[△]△) ⑥510円(10[△]△) ④150円(1[△]△) 枠連⑤-⑥4,610円(17[△]△)
馬連⑥-④6,990円(25[△]△) ワイド⑥-④1,530円(22[△]△) ④-④290円(1[△]△) ④-⑥1,700円(24[△]△)
馬単⑨-⑥9,370円(38[△]△) 3連複④-⑥⑤,280円(17[△]△) 3連単④-⑥④34,220円(111[△]△)



通過タイム : 700m 900m 1100m 上り : 800m 600m
42.5 - 55.5 - 1:08.1 46.1 - 33.8

アラカルト

- ・ J.モレイラ騎手は目黒記念初勝利。JRA重賞は本年4勝目、通算13勝目
- ・ 堀宣行調教師は目黒記念初勝利。JRA重賞は本年4勝目、通算73勝目
- ・ キングカメハメハ産駒はJRA重賞通算141勝目
- ・ 5歳馬の勝利は18年ウインテンダネスに続く通算34回目
- ・ 驕馬の勝利は17年フェイムゲームに続く通算3回目

シュトルーヴェ Struve

騾 黒鹿毛 2019.4.21生

北海道安平町 追分ファーム生産

馬主・村木克子氏 美浦・堀宣行厩舎

馬名意味・フィンランド等にある、世界遺産となっている史跡の名
より

アンチヨCAN系 F9-g

キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo 鹿毛 1990	Mr. Prospector
		Miesque
	マンファスIRE 黒鹿毛 1991	Last Tycoon
アンチュラス 鹿毛 2009		Pilot Bird
	ディーブインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘアIRE
	アンチヨCAN 鹿毛 1998	Wild Zone
		Ruth Ann d'Or

5代までのインブリード：Northern Dancer S5×S5

INTERVIEW

松島慧 調教スタッフ(追分ファームリリーバレー)

差し切ってくれと信じていました

1番人気の支持を集めたことは嬉しかったですし、それに
えられるようなレースを期待していました。道中はスローとな
りましたが、どんな展開でも確実に末脚を使っていたことや、
鞍上もモレイラ騎手だったので差し切ってくれと信じていま
した。次走は宝塚記念を予定しています。メンバーは強くなり
ますが、この勢いのままに好走を期待しています。

I.Terashima



華やかなダービーデーを締めくく
たのは、ハンデ戦らしいスリリングな
攻防だった。熱闘の余韻が冷めやらぬ
なかで行われた伝統のGⅡ・目黒記念
は直線の坂上から形勢が二転三転、最
終的には上位の3頭が同タイムでゴール
を駆け抜ける激戦に、「クビニアタ
マ差」で決着した追い比べを制したの
は1番人気の支持を集めたシュトルー
ヴェ。5歳を迎えて本格化したキング
カメハメハ産駒が、前走の日経賞に続
く重賞連勝を飾った。

3勝クラスから格上挑戦してきたケ
イアイサンデラが、外枠を引いたこの
日も一番のダッシュで飛び出し、大方
の予想通りに主導権を奪取。緩やかな
進路を確保したモレイラ騎手が仕掛け
ると、シュトルーヴェも右肩上がりの
勢いで加速。サトノグランツは競り落
としたシュヴァリエローズを一気に捉
えたところがゴールだった。

昨秋の休養時に去勢された本馬は復
帰初戦の3勝クラス特別を好時計で快
勝。続く日経賞ではそれまで経験がな
かった右回りコースでも結果を出し、
重賞ウイナーの仲間入りを果たした。
別定の日経賞より1・5⁺重い58・5⁺
のハンデを課されたこの日も、出走
馬中最速となる32秒台の上がりタイム
(32秒9)を記録してライバルたちを一
蹴。エンジンのかき回しは遅い半面、強
烈な末脚を誇る5歳騾馬が中長距離界
の新星に躍り出た。

父キングカメハメハ

北海道早来町 ノーザンファーム生産 持込 中央8戦7勝(日本ダービー^{GⅠ}、
NHKマイルC^{GⅠ}、神戸新聞杯^{GⅡ})、最優秀3歳牡馬、05年から供用、19年死亡。
10~11年日本リーディングサイヤー。08~09年日本2歳リーディングサイヤー
〔代表産駒〕ドゥラメンテ、レイデオロ、ロードカナロア、ラブリイデー、ホッ
コータルマエ、ローズキングダム、アビバネ、レッツゴードンキ、チュウワウ
イザード、ミッキーロケット、スタンングローズ、リオンディーズ、ルーラー
シップ、ベルシャザール、ジュンライトボルト、ベプチドナイル、ハタノヴァ
ンクール、タイセイレジェンド(以上^{GⅠ}/^{JⅡ}1勝ち馬)、他に重賞勝ち馬多数

母アンチュラス

北海道安平町 追分ファーム生産 中央22戦2勝(ファンタジーS^{GⅢ}2着)
スカテナート(16 牡父キングカメハメハ)中央11戦0勝、地方50戦0勝
アンティシペイト(17 牡父ルーラーシップ)中央18戦5勝(福島民報杯・L、オ
ホーックS、阿寒湖特別、七夕賞^{GⅢ}3着)
インフィニタス(18 牡父モーリス)中央19戦1勝
シュトルーヴェ 本馬(19 騾父キングカメハメハ)中央12戦6勝(目黒記念^{GⅡ}、
日経賞^{GⅡ}、ジャパンカップ2023年ロンジンワールドベストレース受賞記
念、尾張特別) 獲得総賞金192,450,000円
スペインセラート(20 牡父ルーラーシップ)不出走
アンティシバル(21 牡父ニューイヤーズデイUSA)中央4戦0勝 ㊦
(22 牡父エビファネイア)
(23 前年種付せず)
(24 牡父ドレフォンUSA)

祖母アンチヨCAN

不出走。06年輸入、09年死亡
ワンダーレディアンエルUSA(03 牡父Real Quiet)北米3勝(CCAオーク
S^{GⅠ}、デムワゼルS^{GⅡ}、ボニーミスS^{GⅡ}2着)、輸入繁殖牝馬、クラ
ークレーン Clarke Lane(アリダーS・米3着)の母
ダノンアンチヨ(07 牡父Unbridled's Song)持込 中央0勝、地方2勝
イングリッド(08 牡父ディーブインパクト)中央3勝
アンチュラス(09 前出)
曾祖母ルースアンドール Ruth Ann d'Or
アメリカ産 北米2勝(バシネットS・L3着)、マターオブロー Matter of Law
(ナンディS・加2着)の母、マーガレットレイ Margaret Reay(ミスグリロ
S・米^{GⅢ}2着)の祖母、アモレイUSA(ビホルダーマイルS・米^{GⅠ})の曾祖母

ゴール前の激戦を制したのは5歳騾馬

ラップを刻みながらも、5馬身余りの
リードをつけて軽快に飛ばす。カタ
ーグ遠征からの帰国初戦となったサト
ノグランツは離れた4番手に腰を落ち着
け、日経賞の2着馬クロミナンスがそ
の外を追走。前のポジションにつけた
3、2番人気馬に対し、出足が鈍かつ
たシュトルーヴェのJ・モレイラ騎手
は後方3番手で末脚を温存した。
3コーナーに差し掛かると後続が前
に接近。隊列が凝縮して迎えた直線
では、逃げ粘るケイアイサンデラに2番
手のバラジが並びかけ、坂上からはこ
れを呑み込んだサトノグランツとシュ
ヴァリエローズが先頭を争う形勢に。
とはいえ、坂下で馬群の外へ持ち出し、
進路を確保したモレイラ騎手が仕掛け
ると、シュトルーヴェも右肩上がりの
勢いで加速。サトノグランツは競り落
としたシュヴァリエローズを一気に捉
えたところがゴールだった。